

JUNGIDO

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人／浅田幸作
 発行所／滋賀県立膳所高等学校同窓会
 大津市膳所 2-11-1
 TEL077-524-4295・FAX077-524-1732
 発行日／平成27年4月20日
 編集人／広報部会・山田 勲
 印刷／株式会社 サンエムカラー

URL:http://www.dosokai.ne.jp/zezekoukou
 E-mail:zeze-h-dousukai@poem.ocn.ne.jp

VOL.32

『遵義の桜、さらなる開花』

1898 = 高 = 2015

巻頭エッセー	1
平成27年度総会のお知らせ	1
滋賀県知事にインタビュー	2
周年同窓会報告	3・4・5
記念同窓会報告	5・6
周年記念同窓会 予告	7
石鹿文庫	7
同窓会事業のご案内	7
同窓会費納入のお願い	7
膳所高NEWS	8
会務・会計報告・総会提出議案	別紙

巻頭エッセー

膳所高校を愛すること

校長 草野圭司



平成26年4月に、膳所高校に來させていたいで、1年が過ぎました。輝かしい伝統、近年の実績、特筆すべき研究実践、素晴らしい教育環境・・・外から見せていただく立場からは、このようなイメージを持っていました。中に入

てみてまず驚いたのは、生徒諸君の主体的な活動ぶりや先生方の熱心な教育活動の一つひとつです。その次に、自分のことになりませんが、校長として「表」に出る機会の多さでした。会議や行事、特別な学習機会での挨拶、大学の先生などお世話になる方に対する接遇、事業の報告書、調査研究のまとめや生徒の成果物集などの巻頭の言葉・・・なかなかかき比べようもなく、先生方には、感謝をし、申し訳なくも思っています。私の方は、うれしい悲鳴と言うべき状況であるということに収めさせていた

ただ、原稿を書いていると、ときには、生徒の活動の場を思い出しながら、いまさらながらに感慨にふけるということもあります。やりたいことを見つけて全力で打ち込むことが、ごく普通のことであるかのような子どもたちの日々の生きる姿勢は、まさに本校の生徒の特徴であり、その中から多数の感動の場面が生まれてくるのです。

本校の生徒の特徴と言いますと、感性が豊かであるということがあると思います。ある日、私は、膳所本町の駅の近くで、ご近所の方と思えるご年配の女性に呼び止められました。「あなたは膳所高校の教員ですか。よい生徒さんがたくさんおられますね。毎朝、ちゃんと挨拶をしてくれる。」とおっしゃいました。どうして、そういうことができるのか。本校の生徒は、感性が豊かであるからだと思います。感性

新入会員



「大人としての三年間」 平成27年3月卒業 猪飼更紗

「君たちを一人のレディ、ジェントルマンとして扱います」と、入学した日に先生がおっしゃった。「私たちが大人とみなす」という言葉聞いた三年前の私は、大人として認められることに対する喜びと少しの不安を感じていた。

大人とは自由だ。自立して、拘束されない。しかしだからこそ、自分の行動には責任が伴う。したがって、これは正しいことなのか否か、常に自分で考え、判断し、行動することが大切だ。この膳所高校は、私たちに大人になるための機会を与えてくれたと思う。

一方、大人として真に自由であるためには、自己管理ができなければならない。だから私たちは、部活に打ち込むだけでなく、部活の時間と勉強の時間を切り換えて、

が豊かだから、人の存在を認めて挨拶ができるし、日常の些細な事から問題を見つけて、仮説を立てて、研究ができるし・・・ということではないでしょうか。

私は、膳所高校で学んだこともなく、膳所高校で教えたこともない、つまり、平成26年4月に初めて膳所高校の一員となった人間です。だからこそ、心に強く感じたことがありました。生徒がやりたいことを見つけて全力で取り組むこと、生徒の感性が豊かであること、そういったことも心に強く感じたことにはあきらめられません。また、同窓会が、卒業年度ごとにどの学年も非常に充実しているということも、心に強く感じたことの一つです。「新しい校長先生にお願いです」ということで、いろいろな学年の同窓会の幹事の方がみえました。「今度、卒業▽周年の同窓会をするので、校舎見学をさせてほしい。」というようなお話に込められておられました。この精神が脈々と引き継がれ、膳所高校を愛して一本のしっかりとした筋を通して、私は思っています。

私は、卒業式の式辞で、卒業生のみならず、「膳所高校で学んだ自分であることを大切にしたい」とお願いをしました。膳所高校を卒業することによって、生涯を通じて、いつでも、心の通い合った集団に戻ってこれられるという財産を得たのだから、膳所高校で学んだ自分であることを大切にしてくださいと話しました。彼らもまた、膳所高校を愛する卒業生の仲間に入れていただき、将来にわたって、母校の伝統を担ってほしいと思います。我々は、卒業する人たちに常に愛してもらえ膳所高校であるよう努めていきたいと思っています。同窓会の皆さまには、これからも膳所高校を支えていただきますようお願い申し上げます。

効率的に時間を活用するということを、三年間の日々の生活の中で身につけてきた。時には、その両立の大変さに、心が折れそうな時もあった。しかし、それでも私たちが諦めなかったのは、同じ悩みを抱きつつ文武両道を頑張る友人がたくさん居たからだ。辛く、大変な想いをしているのは自分だけではないと、クラスや部活の仲間は教えてくれた。また、失敗や挫折を経験した時に、相談に乗ってくれた先輩や先生方がおられたことで、失敗して終わるのでなく、前に進み続けることができた。膳所高校には、互いに高め合い、支え合う仲間がたくさんいた。そのことに誇りを持ちたい。

そして、膳所高校を卒業する今、私は改めてここで鍛えられた力を実感している。だから私には自信がある。グローバル社会といわれる世界へ、未来へ——膳所高校を巣立った多くの先輩たちのように広い世界で活躍し、自己の道を切り開いていくという自信が、最後に、私たちを支え、励まして下さった先生方や家族に心からの感謝を伝えたい。

本年度の総会は5月17日(日)

平成27年度 総会のお知らせ

滋賀県立膳所高校同窓会の平成27年度定例総会を左記の要領により開催いたします。

周年同窓会を始め、班のOB・OG会が多数行われています。卒業後3年目の成人同窓会、関東膳所高校同窓会も軌道にのり、定着してきています。27年度の総会に同窓会員の皆様方のご出席をお願いいたします。

平成二十七年 定例総会

- 日時 平成27年5月17日(日) 午前10時開会 (午前9時30分 受付開始)
- 場所 琵琶湖ホテル 大津市浜町2-40 電話 077-(524) 1511

- 感謝状贈呈 本校教職10年勤務者
- 議事 一、平成26年度会務報告・部会報告
- 一、平成26年度会計報告・会計監査報告
- 一、平成27年度事業計画、予算審議
- 一、役員改選・学年の理事等の選出
- 一、その他

- 講演 「人間関係に生かす、カウンセリングのエッセンス」

講師 桑原 知子 氏 (膳所高21回 昭和48年卒業)

京都大学大学院教育学研究科 心理臨床学講座 教授

- 懇親会 懇親会にご出席の方は、当日受付にて会費6,000円です。

出席のお返事は同封のハガキでお願いします。欠席の方及び異動のない方はご返信は不要です。

講師のプロフィール



昭和48年3月 膳所高校卒業
 昭和54年3月 京都大学教育学部教育心理学科卒業
 昭和62年3月 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了

姫路獨協大学講師・助教授、京都大学助教授を経て、平成19年4月より現職
 京都大学教育学博士・臨床心理士

講演の主旨

人間関係のなかでおこってくる様々な葛藤や難しさに対して、カウンセリングではいかに対応していくのでしょうか? 「聴く」技術や、人間のこころの理解など、職場や家庭における人間関係に生かすことのできるカウンセリングのエッセンスについて、お話したいと思います。

滋賀県

知事にインタビュー

27年1月 ロイヤルオークホテルにて同窓生初の知事にインタビュー

日時 1月24日(土)
場所 ロイヤルオークホテル
聞き手 浅田 幸作
大崎 悦男

浅田会長挨拶

本日はご多忙の中、三日月知事におかれましては、公務の隙間をご利用いただき、同窓会誌「JUNGI DO」の座談会にご出席下さいましてありがとうございます。誠にありがとうございます。私たちが膳所高校同窓会の仲間にとりましては、三日月知事の誕生は誇りであり、今後のご活躍を期待しております。本日はお若いころの思い出や後輩への熱い期待をお話していただければうれしく思います。



ご挨拶、自己紹介をお願いします。

まずこのような機会を頂いたお礼を言わせて下さい。同窓会をお守り頂いている大先輩方とこういう時間を過ごさせて頂くことを光栄に思います。
昭和46年生まれで、平成2年卒。現在草津に住んでいます。高校生の息子、中2の息子、小6の娘と、看護師をしていました熊本出身の妻と5人家族です。京都で生まれ、大津で育ちました。極めて元気があった(?)日吉中学校から膳所高校に進学しました。
当初日吉に比べ、膳所は一つにまとまりにくい学校だと思いましたが、友人たちと生徒会活動にも取り組みました。高校時代の3年間がなかったら今の私はなかったらと思うと思います。

膳所高校時代にはどんな思い出がありますでしょうか。

時代はバブルの絶頂期、社会全体に活気と勢いがある時代でした。一学年生徒数500人、11クラス、男女比2:1でした。色んな活動に熱心な生徒と(その当時生徒会

長をしていました)部活動も生徒会活動も消極的な、でも何かやるとキラッと光る友達。冷めた人と熱い人の溝を埋めるのに随分苦労したような...。大きく二つの思い出があります。

1. 硬式庭球部がなかったもので、それをやるのと立ち上がったことです。同級生男女で同好会活動から始め、県内あちこちジブシーのようにコートを探して借りて活動しました。

卒業後すぐ正式な班に認められ、平成3年にはインターハイ出場選手まで出ました。今も、毎年夏に同窓テニス大会を開催、20年以上続いています。

2. 高校三年の学園祭で、後夜祭を実現したことも、忘れられない思い出です。グラウンドでキャンプファイヤーをやるう!と、校長先生に土下座してお願いしても、①近隣住民の方々が反対されるから、②校庭で火を燃やすことを消防署が認めないから「ダメ」と。この2つがクリア出来ればいいのですか?とたずねると、「無理だけどまあやってみたら?」と校長先生。それで、一軒一軒周りの家を歩いて説明し全ての家から賛同署名を貰い、それを消防署に持っていきと署の許可が下り、それを校長先生に持っていきと認めて下さったわけです(笑)。

念願のキャンプファイヤーでのフォークダンスは2:1の比の男女が手を繋げるために、円周率を計算してどこに男性、どこに女性を入れると何回に一回手を繋げるかという計算をしながら幾重の輪を作りました(笑)。

この2つの経験から得たことは、「無ければ作ればいい」「ダメだと思って諦めなくてもよい」「不可能なことはない」ということでした。

大学で学ばれたことは。

山岳班の高3の恩師に「お前は東京に行った方がよい、東京に行って湖国寮に入れ。」二橋大学に山の好きな石弘光という財政学の先生が居る。一橋大学経済学部に入つて財政学を専攻し、石先生のお世話になれ。」と言われたのです。

よく解らなかつたのですが、結局その通りに進み、石ゼミナールに入り、就職の時も色んなご示唆を頂いて今があります。高3の恩師の見立てに感謝しています。

滋賀県初の膳所高校出身知事としての抱負は。

8年間のJR西日本勤務の後、松下政経塾での修行を経て、10年半衆議院議員をさせて頂きました。政治の世界に進もうというきっかけを与えてくれたのは「膳所高校」であり、「滋賀県」であり、「湖国寮」というところででありました。従って、いずれは湖国滋賀の発展のために力を尽くしたい。滋賀の身近なところで仕事をしたい、という思いがありました。

知事としての理念は3つあります。

①「一人の力」を活かし、「いのち」を守り、「草の根自治の滋賀」を発展させること。

防災、福祉、環境、子育てなど、自分たちの身の回りのことを自分たちで担い、分かち合おうという、いわゆる自治の思想と取り組みが滋賀には根付いています。これをより発展させ、絆が希薄になってきた現代にこうした取り組みを全国に発信したいと考えています。

②びわ湖や自然と共に生き、全ての人の居場所と出番がある「共生社会・滋賀」をつくること。

人と人、人と自然、今と未来、人間だけでなく他の生き物のことも考えられる生活や生産活動を大切にしていきたいです。

③「滋賀の力」を伸ばし、活かし、力強く持続的な「経済と雇用のしごと」をつくること。

「滋賀の力」とは、ものづくりの力、交通と観光の力、文化とスポーツの力などです。自然豊かで歴史・文化の資源もたくさんあります。地の利もあります。工業製品だけでなく、近江米などの食べ物、ちりめんなどの着る物、お酒などの飲み物など、地域の産業もあります。魅力と可能性をもっと伸ばしていきたい。



その他、色々思っていることを述べてみます。私は全国で3番目に若い知事でもありますのであちこちの現場に足を運ぼうと思っています。1月はレイクサイドマラソンに参加します。2月には「湖北居住」体験として、木之本町の古民家から8日間県庁に通勤します。何でも皆さんと一緒に現場で体験し協力していきたくいと張り切っております。

県の目標として、「新しい豊かさ」を滋賀からみんなで作ろう!と定めて呼びかけています。「新しい豊かさ」



とは、今だけ、モノだけ、お金だけ、自分だけの豊かさではなく、すべての人が、持続的に、

心で実感できる豊かさです。これを県政の基本理念として様々な事業や予算をつくっていきます。

学力問題についてです。滋賀は全国学力・学習状況調査の結果がまた低かったのが、随分怒られました(苦笑)。ただ、テストの正答率だけが学力でしょうか?

だから学力の中に「ぶ」を入れて「学ぶ力」を高めますか?と申し上げています。



杉野に昔から伝わる「おこない」(五穀豊穡を願う行事に参加)

滋賀の小中学生に「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いませんか?」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いませんか?」と2つの質問をしたら「当てはまる」と答える生徒の比率が全国平均より低い。認めて貰えないから学校で頑張ろうという気持ちになれない、この科目は将来こんな役に立つと教えて貰っていないから学ぶ意欲が欠ける。一番根っこにそれがあるのでは...?と。

また先生自身も職場で叩かれることこそ多いけれどあまり褒められていないのが現状です。ダメなところを突くのではなく、いいところから伸ばしていく生き方をまっすぐ大人の世代から実践してみよう!と。そうしないと、感じないけど子どももいいところ目がいけないと感じます。県庁内でも、1指摘するときは10頑張っておられることを認めてから述べようとしています。

一方で、対照的に「地域の行事に参加していますか?」の「当てはまる」の比率は滋賀の小中学生はとても高い。したがって、遠くの塾に親の送り付きで通うより、近くのお寺などで一線をご勇退された方々に子どもたちの勉強を見て頂く、そんな輪を作っていくと滋賀の教育がもっともっと充実していくんじゃないかと思うんです。ですから、教育委員会や現場の皆さん、関係者の皆さんと一緒に、「学ぶ力」を高めて「急がば回れの学力向上」に取り組んでいます。

再犯防止についてです。犯罪件数の6割が再犯、検挙される方の3割が再犯者ということからしますと、再犯防止のための取り組みが重要です。全ての人の居場所と出番、住まいと仕事が必要です。

再び犯罪を起さない、不幸な犠牲者を生まないという思いで、社会全体で孤立する人をつくらない取り組みを展開する。行政での直接雇用、雇用に協力する事業者に対する公共事業受注時の特典付与などにも取り組みます。みんなで取り組んでいくことが大切だと思います。

同窓会長の浅田先生にクリントン(元米大統領)に似ていると言われ大変光栄です。彼に及ぶ演説をしようとは思いませんが、言葉を大事にしたいと心がけています。自分の腹に落ちていない言葉は使わない、分らないことは言わないようにしていますので、何となく自信

を持って見るように見て頂けるのかもしれない。確かにアクティブシニアにも大いに期待しています。確かに医療、福祉で支えなければならぬ高齢者は増えていきます。しかし、元気な高齢者（IIアクティブシニア）にはどんな色んな事に関わって貰おうと、予算作りや政策検討、教育問題、スポーツなどの大会の施設づくりや環境づくりに関わって貰いたいと思います。

今、ブラジル連邦共和国とパレーン王国の青年たち19名が来県し、県内のお宅でホームステイし、交流しています。歓迎のレセプションで「多様性を認める、英語で言うところのCelebrating diversity、多様性を尊重する」とこの重要性を語り合いました。ある意味、これはやおよろずの神を極めて大事にしてきた日本古来の思想です。生きとし生けるものに思いを致すというのは、「忘己利他」をさとして頂く比叡山延暦寺も大事にしていることでしょうし、色んなところで人々が体現しようとしてきたと思います。そういう全てのもを大事にした生き方を滋賀でやるうじやないか、と若い人々にも呼びかけていきたいと思っています。

膳所高生にどんな期待をされますか。
遵義力行、人の道に恥じない生き方をして欲しいし、その一端を高校の3年間で学んでもらいたいと思います。社会との繋がりが、色んな世代との関わりから何かを学んで下さい。学校では、文武両道で色んな事にチャレンジして欲しいと思います。大学との連携、グローバルな勉強など機会提供には他の学校以上に恵まれていると思います。共にかんばりましょう！

お礼の言葉
本日はご多忙の中、私たち同窓会のためお時間を割いていただき、ありがとうございました。知事から大切な思い出や貴重なお考えをお伺いし、有意義な一時を過ごさせて頂きました。同窓生一同、知事の今後の一層のご活躍を期待しております。

最後になりましたが、ご身体に充分ご留意され、県民のため、滋賀県のため、ご奮闘、ご尽力されることをお祈りいたします。

・当日出席編集委員

- 山田 勲 東郷 重明 上野 滋子
- 卯田 重子 藤原 陽子 岡澤 則子



周年同窓会

東二会60周年記念・傘寿同窓会 (大津東2回 昭和29年卒業)

去る11月9日にプリンスホテルに於いて、在校生の素晴らしい吹奏楽の演奏で同窓会が始まり、校歌や懐かしい曲や現在よく耳にする曲等数々の演奏をしていただき、私達の傘寿の祝をして下さった思いで感動いたしました。

今回の同窓会は傘寿を祝うと共にテーマとして「現役高校生即ち孫世代の若者との交流」ということとし、在校生の代表として二人の方にスピーチをしていただいた。「コミュニケーションの取れた」や「ロボットとの共存」という題で将来の日本人としての暗示や苦悩が話された。便利になるとはいえ、それに頼ることによって人と人とのコミュニケーションが取れなくなるのではないかと将来が心配であると話された。二人の共通した話は日々の生活の中で科学技術の発展で便利になるといっても、弊害として人と人とのコミュニケーションが希薄になるのは困るので、今まで以上に日々の生活で人との関わりを大切にし感謝や思いやる気持ちを持ちたいと話された。大切にするロボット研究や医者になりたいと話された。しっかりと考えた話を二人に感じし、うれしく思いました。その後、在校生の方を二、三人づつ各テーブルに加わってもらい、学校の様子や若い方が私達に対して、どのように思っているかを各テーブルごとに聞いたり話したりして、楽しい交流のひとときをもちました。卒業して60年経ったことの驚きをかきさすにはいられませんが、今日まで各自いろいろなことに遭遇しながらも、元気にいられ、今日出席できたことを感謝し80余名の友人と青春時代を思い出しつつまでも忘れられない高校生活を語りあかした同窓会となりました。

戦前生まれの者が20%となったと聞きますと、私達は貴重な年代となりましたことを自覚し、いつまでもよき友達でいようと思つてお話し合いつつお互いの絆を強めたのでした。来年からは希望する者のみ機会あることに集まることになり、お互いに元気でいて、いつまでも会えることを願い、「琵琶湖



周航の歌」を歌い物故者の方々の冥福を祈りつつ出席できた喜びと感謝の傘寿の同窓会を閉じました。周年同窓会でもあり同窓会会計よりお祝を頂き有り難うございました。
(上野 滋子記)

55周年記念同窓会 (膳所高7回 昭和34年卒業)

平成26年9月27日は曇りつつない快晴。容赦なく照りつける太陽。熱射病、水分欠乏が心配される残暑の中、我々の「感動劇場」は急ぎよ冷茶の配布で幕を開けた。

「セアカゴケ蜘蛛」の増殖がニュースで騒がれ、朝から教頭先生が溝蓋の裏に殺虫剤を散布、生徒の安全を一番に考えておられるお姿だ。心の中で頭をさげる。受付開始時刻を待ちきれない人々が次々と校門をくぐってくる。さまざまな足の運び、身振り、頭髪の様子。卒業後、半世紀を生きてきた風格や経歴、乗り越えてきた苦悩や障害も旧友との再会で、一瞬にしてゼロにセツトされる。

共通するのは、笑顔、握手それと弾む声。病氣と葉の話で眉をひそめる人も居る。先ずは新校舎を背景に記念写真を撮る。撮影時刻には校章に陽が射し、ご来賓の方々も写真に収まり、うれしい限りである。その場で現校長草野圭司先生からお祝いと歓迎の御言葉を頂き、同先生のご案内で校舎を視察させて頂いた。新しい校舎、教室、設備、環境を目的の当りにして感嘆や羨望の声があちこちで囁かれ、在校当時のポロ校舎を懐かしんだ。教室の臭いは昔と変わらず黒板のチョークの跡は変わらない。しかし、四階の東ベランダからの景色は格別で、三上山湖南アルプスを背景に近江大橋や対岸の風景が広がっている。とりわけ比連連峰の眺望は素晴らしい、爽やかな風にひと時の涼を味わった。

最後にご案内頂いたのは、吹奏楽練習場であった。小ホールともいえる広さの半分ほどに80席ほどのパイプ椅子が職員により用意され、我々はそこに腰を下ろした。床面は遮音のためカーペットが敷かれ、残りの半分は職員が演奏の準備を整えている。歓迎の心が優しく伝わってくる。

今回の夢の筋書きは、「在校生と一緒に校歌を歌おう」だった。職員は演奏と歌唱とに分かれ我々と合唱する段取りである。いよいよ顧問の本間先生の指揮で、「音」が発せられる。美しい清らかな音色で前奏が流れ、我々の体に懐かしさと緊張が湧き上がる。全員起立！「コーヨーのウーミー」70数年を生きた熟声が一同に響いた。かつて、こんなに心を込めて校歌を歌ったことがあったのだろうか？

孫のような年ごろの職員と今、同じ母校で声を張り上げていた。もう涙を見せるのが恥ずかしい年頃では無い。さらに「高校3年生」「ふるさと」を熱唱。それぞれが色々な思いを胸に涙をぬぐった。母校の教師として35年間教鞭を振った須田武志君が感動し、在校生を言葉で激励

そのあと園田芳久君の進行で職員と交歓し、謝意を表したのちバス2台で母校をあとにした。まさに視聴、嗅覚で感じた「感動劇場・母校訪問」だった。そのころ、御嶽山が噴火し、大惨事になっていたとはまだ誰も知らなかった。

50周年記念(古希)同窓会 (膳所高12回 昭和39年卒業)

平成26年7月13日(日)、琵琶湖ホテル(瑞穂の間)にて、卒業50周年記念同窓会を開催しました。卒業生参加者142名、恩師の小笠原保信先生、舟橋明男先生、久末源治先生、村田辰夫先生、現校長草野圭司先生の5名の臨席を頂きました。受付後、ホテル写真室にて、記念写真を撮影致しました。式典は、大平順一君の落ち着いた司会進行で、幕を開け、我等が先輩橋本昭夫氏のピアノ伴奏にて校歌斉唱の後、同窓生35名、恩師4名の物故者への黙祷を捧げました。実行委員長の河原林晋君の、今後の記念年にも同窓会を開催したい旨の挨拶の後、現



宴会場はロビー階、ローズの間。洋食テーブルバイキング形式ですすめられた。自分の席にドッカーリ座って飲食を楽しむ人、会場を飛びまわってお酌をする人、恩師と懐かしい話にふける人、恋愛経験を暴露する人、等々。笑顔と歓声は絶えることがなく、参加した喜びと、参加できた幸せに溢れていた。一方、欠席した友人を気遣い、心配して消息を交換する場面もあり、同窓生の絆の深さが改めて感じられた。宴たけなわの中、次年度幹事5組の紹介があり、恒例の「琵琶湖周航の歌」を三木健君の指導で輪になって歌い、杉本富雄君の閉会の言葉、石原祐君の万歳三唱でフィナーレを迎えた。

年々、体力、気力などが衰える中、勇気を貰って頑張れるのも旧友あつての事。「また会おう」と約束の言葉を交わして別れた。家路に就くうしろ姿は、戦後を生きた昭和の勇士」か「平成の憂者」だった。なお、開催準備に際し大変なご協力を頂いた5組の川那辺吉成君に、みんな感謝。
(幹事 木村 尚達)

校長草野圭司先生の祝辞。科学技術、理・数学教育を重点的に行うスーパー・サイエンス・ハイスクールが、充実してきた事、文武両道の、班活動11部門で発表会を持った事、さらには世界に羽ばたく人材を育成します。とのお言葉に、母校の益々の発展を確信し、胸が熱くなりました。懇親会の冒頭、副実行委員長松平智康君の乾杯の音頭を機に、待つてましたとはばかりに、会場は大きな歓談の渦と化しました。

最初は隣の席に座ったのが、誰だか判らなかつたが、暫く話していると当時を思い出し、「何だ君か、判らなかつたよ」と、大いに語り、食べ、飲んば、そして笑い、同窓生の絆をより深めました。宴半ばには、今回の目玉イベント、現役で活動中の同窓生ジャズ・バンドによる懐かし、軽快なメロディーの演奏にノリノリの気分になりました。

高校生時代のままの、あつと言ふ間の楽しい時間を過ごしました。副実行委員長須藤正之君のお開きの挨拶で解散後、お互いに別れを惜しみ、クラス単位、気の合う友人等と共に三々五々に会場を後にしました。実行委員の皆様、有り難う御座いました。次回同窓会での再会を祈念致します。

(報告者 梅村 俊二)



45周年記念同窓会

(膳所高17回 昭和44年卒業)

昨年8月16日午後3時から、45周年記念同窓会を、ホテルグランヴィア京都 古今の間で開催しました。

当日は、大変な悪天候で、風雨のため、JRが大幅に遅れました。受付開始時間になつても、世話役のメンバーが揃わず、急遽、早く来ていた同級生に手伝ってもらつたなど、和気あいあいながらも、バタバタしたスタートになりました。

開宴を少し遅らせて、閉会の辞、世話人代表挨拶、恩師の小笠原保信先生より、お言葉を頂きました。続いて、同級生初の政治家となつた野洲市長山仲善彰君の発声で乾杯を行い、遅れている同級生を心配しながら、記念撮影に移りましたが、幸い、全員撮影に間に合いました。104名の参加者全員で、2回目の乾杯をして、食事、歓談の時間が始まり、第2、第3の人生を歩み始めている話や、娘、息子の結婚話、孫の話や高校時代の思い出話などで盛り上がりつつあるうちに、あつというまにお開きの時刻となりました。

二次会は、アサヒビアレ스토랑 スーパードライルネサンスで行いました。64名で予約していましたが、当日参加者が予想外に多く、超満員でにぎやかな2次会になりました。もつとみんなに会いたいの、5年毎ではなく毎年やろうという話や、みんなでバス旅行に行こうなどという話、出身中学校の同窓会もやろうという話なども飛び交っていました。

次回は、5年後になりますが、皆さんからのご意見も聞きながら、それまでに何か、企画したいと考えています。その時には、是非多くの皆さんのご参加をよろしくお願ひします。

(世話人代表 笠 正人)



45周年記念同窓会

(膳所高18回 昭和45年卒業)

2015年1月10日、同窓生116名が琵琶湖ホテル瑠璃の間で、卒業45周年記念同窓会を持つた。会に先立ち、第18回(昭和45年)卒業生同窓会のホームページの立ち上げ報告された。前回の同窓会の同級生だつたので、ゆつくりしてもらえないのは申し訳ない、今回はびわこ成蹊スポーツ大学でアナウンサーを目指している学生さんが担当してくれた。

恩師の八木敏雄先生・澤幸雄先生のご参加の下、和気藹々と会は進んだ。恩師のお二人は、担任した時は「若かつた頃で、いろいろな意味で忘れられない学年です」と参加出来たことを一緒に喜んでくださったのはなによりだつた。

今回初めて関東から参加したある同窓生は、「澤先生の挨拶を聞いたら、ぱつと授業風景が甦つた。同級生にその話をしたら、『おまえ、澤先生に授業であつたら



て、〇〇君が答えますとわしに振つたのを覚えてへんのか」と言つた」とか。また、別の人は「全く思い出せない顔から、ぼこつと昔の顔が思い浮かび、思わず握手してしまいました」と。更に、いろいろ世話をしてくれた幹事の一人は「出逢いを大切にしたい。若くはないから、元気なうちに、続けていけるといいな。5年後と言わずに早いうちにした方がいいかも」とうれしいことを言つてくれた。

最後に「なつかしの青春の歌声喫茶」のコーナーを用意してくれ、「あの時君は若かつた」「恋の季節」「亜麻色の髪の乙女」「風」「戦争を知らない子供たち」最後は「高校三年生」を熱唱し「校歌」で締めくくつた。みんなで歌い、2次会へとたれ込んだ。

2次会には87名が残り、ホテルに付属したラウンジと、隣のアーカスのカラオケルームで盛り上がり、クラス単位の同級会を計画した組もあつたとか。今回参加願ひなかつた方も「元気なうちに」を合ひ言葉に是非とも次回参加願ひしたい。

(記事担当 猪飼 由利子)

40周年記念同窓会

(膳所高22回 昭和49年卒業)

昭和49年3月卒業 第22回卒業生一同は、今回、平成26年8月16日に琵琶湖ホテルにおいて、卒業40周年の記念同窓会を開催しました。当日は恩師の先生方9名と草野校長先生にご出席いただき、総勢170名の参加者で大いに盛況となりました。

ほとんどの同窓生が来年には還暦を迎える歳に達し、次の人生への転換期にきています。今一度、旧交を温め人生を見直す良い機会になつたのではないのでしょうか。二次会、三次会と尽きることなく夜遅くまで大いに盛り上がりました。

今回の同窓会には一年も前から準備をしたにもかかわらず、当日は土砂降りの大雨、電車は大幅に遅れ、開始時間もスケジュールも大幅に遅れるという大混乱でしたが、終わってみれば皆満足な宵の会となりました。

さて、来年は、引き続き「還暦クルーズ」と題しまして琵琶湖汽船のピアンカの船上にて終日の同窓会を行う予定です。二年連続の同窓会及びクルーズにて長時間の同窓会も初めてを試みです。きつと大いに盛り上がることでしよう。

同窓会準備を兼ねてスタッフ同窓



生と懇親を深めた一年間は、とても素晴らしく、みなさんがどんどん若々しくいきいきしていき姿が印象的でした。最期に同窓会成功にご尽力いただいた多くの方々、膳所高校同窓会本部の方に御礼申し上げます。本当に感謝しております。

(八田 仁)

35周年記念同窓会

(膳所高27回 昭和54年卒業)

平成26年5月3日(土)琵琶湖ホテル瑠璃の間にて卒業35周年記念同窓会を開催しました。25周年、30周年に続く3回目の学年全体の同窓会に、150名の同級生に加えて5名の恩師のご参加を賜りました。私たちの学年の男女比はほぼ4対1でしたが、今回の同窓会参加者は男子100名、女子50名と男女比はちょうど2対1でした。女子に精神的余裕のある人が多く男子に薄情者が多いというわけでもないでしょうが、現在の在校生の皆さんには想像もつかないだろう理系男子クラスだつた我が身には嬉しい現象といわざるを得ません。なお、理系組だつた1組から5組までの参加者は71名、文系組の6組から10組の参加者は79名と、文理による参加率は大きく変わらな



いのも面白い傾向です。女子の大多数は文系だつたので。さて、正午からの同窓会に先立ち、朝9時半から膳所高にて恩師の特別講義というイベントを開催しました。講義科目は井上太刀夫先生の社会と岡本(月原)一郎先生の数学で、約45名の生徒で教室は一杯になりました。母校の教員をしている同級生のおかげでこうしたことができたのですが、それにしても今の校舎はストロブもなかつた私たちが時代の想像もできないほど美しく立派な建物になっています。ただ、中庭の池のペンギンだけは、往時今も変わらず生徒達を見守つてくれているようでした。

同窓会で最も重要なものは食事でも酒でも面白い企画でもなく、ただ多くの旧友と話す時間ではないでしょうか。そこで今回も同窓会(1次会)に引き続き隣の部屋で2次会を設定しましたが、参加者のほぼ全員が2次会に参加し、1次会開始の正午から2次会解散の午後6時まで琵琶湖ホテルにて延々と楽しく語り合いました。3

次会のフライングへも大量に流れ込んだようです。幹事会の私たちにっては半年前から準備をしてきた同窓会も一瞬で過ぎ去ってしまいました。準備の為に幹事で集まる日々もミニ同窓会だったわけで、また5年後に向けてお互いの繋がりを大切に過ごしていきたいと思っています。

(幹事会代表 大田 伊久雄)

30周年記念同窓会

(膳所高32回 昭和59年卒業)

平成27年1月2日にホテルポストンプラザ草津に集い、160人を超える同級生が集まり旧交を温めました。同窓会は、今回幹事の代表を務めて頂いた川上宏智君の挨拶から始まり、ご臨席頂いた9人の恩師の先生のスピーチ等を挟みながら、参加者全員思い出話に花を咲かせ、近況を報告しあい、次回の再会の約束をして大いに盛り上がりました。

卒業後の歳月は我々の容姿を変容させていきました。東京で同級生女子による「東京2会」なるものが結成され、女子会を楽しんでいるとのこと、今回、その面々が余興をやってくれました。某漫才コンビが流行らせたテレビでお馴染みの歌(あたりまえ体操)を替え歌にして、高校時代の思い出を面白おかしく歌い込んで盛り上げてくれたのですが、なかでも爆笑をとったのは、恩師の先生方とすっかり髪の毛が薄くなったり太ったりしてしまっている同級生男性たちを混合してステージに招いて「誰が先生で誰が生徒かわからない」と歌い上げた一幕でした。

我々が膳所高校を卒業して30年となったこの節目の年は戦後70年という節目でもあります。そうした時代背景の中我々は、職場や地域での活動を通じて社会や日本の未来に責任をもつことが求められる年齢になつてきました。今回の同窓会はそういった立場を改めて自覚する機会ともなりました。恩師のスピーチの中に「膳所高校卒業生としての誇り」を持つべしとお言葉がありました。滋賀県をはじめ地域の未来を牽引するのみならず、明日の日本を背負うぐらいの気概をもつてほしいという趣旨の叱咤激励で、そうしたことが使命として要請される地域のリーダーングスクールを卒業したことに改めて喜びと誇りを感じました。

次回の同窓会開催を望む声が多く上がっていました。こうした声が続く限り我々は昭和59年卒業生の同窓会を盛り上げ続けていきたいと思います。

(中村 新哉)



25周年記念同窓会

(膳所高37回 平成元年卒業)

平成27年1月3日に琵琶湖ホテル瑠璃の間にて、膳所高等学校平成元年卒25周年記念同窓会が開かれ、先生方と同窓生で70人ほどが集まり、楽しいひとときを過ごしました。

音野副校長に乾杯のご発声をいただき、大島直彰さんと片岡純治さんの司会で会は進行しました。

歯科医師で抗加齢医学会の指導士の田邊美樹子さんに「あと40年どう生きたいですか?」

まだ間に合う抗加齢医学の実践」と題した講演をしていただきました。

「40代半ばに差し掛かろうとしている同窓生に健康で長生きし、活躍してもらおう」と食生活のアドバイスなどについてお話ししてもらいました。食品を選ぶのにカロリーだけでなくGI値を見ることが勉強になりました。また片岡純治さんが作成した高校時代のアルバムや同窓生のFacebookの写真を音楽をつけたビデオが上映されました。

過去の映像では修学旅行や友人と遊びに行った写真で高校生時代を思い出し、最近の映像では学会で発表したりマラソンに出たりと活躍している、今回は参加できなかった同窓生の近況にも触れることができました。

会場には出席者が持ち寄った生徒会新聞やユニフォーム、通学定期など膳所高時代の思い出の品が並べられました。球技大会の記念にクラスでつくったテレホンカードなど思わぬ物も出てきました。互いの物持ちの良さに感心しながら、当時のエピソードを語り合いました。

(林 潤)



15周年記念同窓会

(膳所高48回 平成12年卒業)

平成27年1月3日、京都ホテルグランドヴィアにて卒業15周年記念同窓会を開催しました。元旦からの大雪で足下の悪さが心配されましたが、約150名の同窓生と恩師の方々が無事集いました。

2000年という区切りの良い年に卒業してからは15年、皆忙しい日々を過ごしていたのでしよう。今回は初めての同窓会となりました。卒業以来ということではじめのうち、ロビーや入り口近くで何とも言えない緊張感と不思議な空気が流れていました。一人、また一人と集まっていくうちに再会の喜びで会場が暖まっていく様子が感じられました。

生徒会長の司会のもと、いざ開式。ほどなく恩師の方々にのご挨拶をいただきました。

その頃には皆再会の喜びに会話の花が咲き乱れまくり!もうちよつと先生の話聞きたいやと突っ込みたくなる状態となっていました。先生の声の抑揚や響きを耳にしていると、まるで15年前の床が黒光りする薄暗いあの教室で、席について授業を受けているような気がして、懐かしさがこみ上げてきました。

1次会の会場の時間いっぱいになつても話の尽きない一同、2次会、3次会と楽しい時間は続いたようです。

(岩坂 潤)



10周年記念同窓会

(膳所高53回 平成17年卒業)

平成17年に膳所高校を卒業した我々は、卒業10周年を記念して2015年1月2日にホテルグランドヴィア京都にて、学年同窓会を行いました。当日は雪の降る大変寒い日でしたが、各クラス幹事による積極的な周知活動により、学年主任の増本先生をはじめ11名の先生方と150名を超える同窓生が集う同窓会を開催することができました。

受付会場では、同期との久しぶりの再会で大いに話が弾み、先生方が到着されるとさらにその盛り上がりが大きくなりました。まず、開会前に全体で集合写真を撮影し、その後、増本先生から開会の挨拶と乾杯の音頭をとっていただき、同窓会がスタートしました。

当日は先生方のテーブルを囲うような立食パーティー形式をとりました。先生の席の周りにはたくさん同窓生が集まり、先生は次から次へと出されるお



酒に少し大変だったかもしれません。また、同窓生同士も近況報告や高校時代の話など話題が尽きず、あつという間に時間が経ってしまいました。

同窓会終盤に、ステージ上で自由な形式による記念写真撮影が行われたのが特に記憶に残っています。これは当初は予定していなかったのですが、「3年〇組の人々、ステージ集合!」と誰かが声をかけ、集まったグループで集合写真を撮るといふもので、やがては「〇〇班の人、集合!」や「独身の人も、集合!」といったものまで、実にさまざまなグループで写真撮影が行われました。

この写真撮影が盛り上がりつつある最中、ふと時計を見るともう終宴の時間が迫っていることに気づき、楽しんでる時間の経つ速さを実感しました。会が終わるホテルから外を見ると、雪が深々と降っており、とても寒かったです。先生や同窓生と楽しい時間を過ごせたことで、心の中は大変温まりました。また次回の学年同窓会で、先生方や同窓生との再会を楽しみにしています。

(高橋 春弥)

記念同窓会

尚歯会

(膳所中39回 昭和16年卒業)

南極越冬隊員であった東京大学名誉教授中村純二君(膳中三九会の同級生)から研究資料の一部が届き三九会総会で配った。

その内容は、地球温暖化、異常気象、その他であった。

私達の時代には全く考えてもいなかったことであつたが、全員期せずして八十年前に漢文の山田有功先生からお習いした「少年易老 学難成一寸光陰 不可輕」の時代に立ち戻つた。その後、たのしい宴になり時のたつのも忘れた。



「草生す城は墟古れど…」校歌を斉唱し次回を約して散会した。

(谷 直光・長谷川 良治)

膳中第四十三回(四卒)同窓会

(膳所中43回 昭和20年卒業)

平成26年10月23日午後三時からJ.R山科駅前のライオンホテル京都山科で開催された。出席者は30名、入学時には200名余の級友も半数以上が物故者となった。

昭和16年の入学時には対米英宣戦布告が発表され、卒業の年、昭和20年には終戦の詔勅が発表され、在学中の四年間はまさに戦中の真只中であった。

同窓会では歓談の中で当時の思い出が語られ、週一回の塩飯弁当の立食、饗庭野練兵場での一泊の訓練、最終学年の大中之湖干拓事業への動員等在学時の思い出が卒業後69年を経た今日次々と話題になった。また歓談中には垣見氏のハモ二力演奏、上田氏のシャンソン歌唱で花を添えた。校歌の一節「流れは出てて絶間なみ」を実感した一日であった。

校歌と琵琶湖周航の歌を合唱し、賑やかな歓談のうちに閉会時を迎え、来年の同窓会は卒業後70年の節目の日であるところから多くの級友が元気で再会することを約束して散会した。

(泉 記)

ふなの会傘寿記念同窓会

(大津高3回 昭和27年卒業)

2014年5月14日琵琶湖ホテルにて「ふなの会傘寿記念同窓会」が開催されました。最後の昭和一桁生まれの私たちは、戦時下の荒廃と耐乏の生活を経験し、昭和から平成にかけて戦後日本の復興と再生という激流にさらされながらも見事に生き抜いて「傘寿」にたどり着きました。終戦の翌年、平時教育への転換が進むなか新しい未来に向かって旧制の中学校や高等女学校に進学しました。「六・三・三制」への学制改革で誕生した大津市の3新制高校併合で、800名を超える新入生を抱える私たちの大津高校では、1年生のみ膳所駅前の旧県立女学校校舎に収容され、先輩も後輩も居ない単一学年の生活が2年間続きます。3年生のとき膳所本町の本校に戻りますが、教科の自由選択制で授業の科目が変わることに教室間を右往左往する毎日。毎朝の朝礼の時間だけが級友の集合できるひとときでした。自分の所属したクラスや友達が判然としないのも止むを得ません。しかしクラブ活動や部活動を通じて培った青春時代の思い出と絆は強く、今日の同窓会「ふなの会」の誕生に繋がった訳です。

卒業50周年を祝う記念大会は200名を超える参加者のもとで盛大に開催されました。喜寿記念大会、卒業60周年記念大会と回を重ねるごとに徐々にではありますが体調不良のための欠席者も増え、物故者も増加してきま

した。「70才台でも自分は元気で健康だ」と自認していても、歳相応に体力や足腰の衰えは隠せません。

この傘寿記念同窓会の開催に当たって、「はじめてだが参加してみたい」「この体調では次回まで待てない」「当日のことはわからないが元氣ならば是非出席したい」等々予備調査での「出席」回答165人。年齢は争えませんが、本人の体調不良や近親者の突然の故障などで出席辞退者が増加、当日の参加は120名にとどまりました。

大会当日、テールに着席の皆さん、80才とは見えない元氣な顔と顔が並びました。司会者の挨拶に次いで先ず234名の物故者の霊に追悼の黙祷を捧げ、本日出席の120名と事情があり参加できなかった級友262名(健在確認)の傘寿達成を祝福して乾杯。会食と歓談の時間ではアチラ・コチラに聞きなれた声も聞こえ、中学時代の思い出も話題に。今回特に折り込まれた「抽選会」では20名の当選者の演壇上での一言が会場に花を添えました。ピアノのイントロと司会者の合図で何処からともなく「青い山脈」が開こうと見事なハモニーに。更に歌声は「月の沙漠」や「幼なじみ」に続きました。恒例になりますが、最後に「琵琶湖周航の歌」を全員で合唱。今後も「ふなの会」の継統を誓い、2年後または卒業65周年記念大会での再会を約束して万歳三唱。

80才でも明日はあります。生涯に2度目の東京オリンピックも開催されます。「元気で長生きふなの会」は「今日を生き明日も生きようふなの会」として明日・明後日を目指します。

(文・斉内 和夫)



喜寿記念同窓会

(大津東高4回 昭和31年卒業)

3年ぶりに、私たち東四喜寿記念同窓会は、平成26年10月13日(月)、体育の日)午前11時30分より、琵琶湖ホテル「瑠璃の間」にて開催されました。当初は91名の出席予定でしたが、生憎、台風19号の襲来で、散々な事態となり、交通機関の運休予告が出るなか、出席取り消しが相次ぎ、結局最終的には65名の出席者により行われました。式典の部では、今回は原田道雄君の司会により、まず東四



会会長椿鐵夫が、事業報告をかねて開会の挨拶を行った後、新たに不帰の客となられた、8名の同期生諸君のご冥福をお祈りして、黙祷を捧げました。校歌「混濁の湖」の斉唱をもって式典の部を終了。引き続きホテル3階のスタジオにて参加者全員の集合写真撮影、会場に戻って、舞台前で、各組ごとの記念写真撮影は、会場にいよいよ12時30分よりパーティーの部に移りました。冒頭高城宗求幹事長の音頭により乾杯、会食に入りました。と、あつという間に58年前にタイムスリップ、気心の合った者どうしの話の輪があちこちに出て、歓談は大いに盛り上がりました。頃合いを見計らって「琵琶湖周航の歌」を合唱。その後、今回はじめての試みとなりましたが、舞台上での出身中学校別の集合写真を撮影、会場は大いに沸きました。お開きの午後3時30分も近づいて、全員で「逍遙歌」を大合唱。閉会の辞では、椿が再び登壇して、東四同窓会会長退任の挨拶を行いました。午後4時から同ホテル内のバー「桃山」で開かれた二次会には21名が参加。主だった面々の協議の結果、松本正朗君に後事を託すことを決して、午後5時30分散会いたしました。

(椿 鐵夫)

関東膳所高同窓会

関東膳所高同窓会は、卒業年度に関係なく、関東地方在住の膳所高校卒業生により構成される同窓会です。東京を始めとする関東地方には、進学、就職、転勤等によ

り多くの卒業生が住んでいますので、そういった卒業生の方々に、年齢等を問わず、交流する場を提供したいという事で、なるべく毎年開催するようにしております。昨年の同窓会は、5月31日に、東京の日比谷公園のそばにある日本ブレスセンターで開催されました。100人超の関東在住の卒業生や来賓が出席し、性別・年齢を問わず、交流を楽しんで頂けたのではないかと思います。特に、コミュニケーション企画と銘打って、出席者の興味のあるテーマ(ビジネス、スポーツ等)毎に集まって頂き、そこでお互いの自己紹介やそのテーマに関係のある話題で盛り上がりつつ頂きました。また、関東膳所高同窓会では、各界でご活躍されている卒業生にお話を頂く時間を設けており、三菱UFJフィナンシャル・グループで副社長を務めておられる田中正明さん(昭和46年卒)にお話を頂きました。

長い歴史のある関東膳所高同窓会ですが、今後も、毎年の同窓会をはじめ、世代を超えた交流をテーマとして、大小を問わず卒業生が集まる企画を継続していきたいと考えています。ご興味のおありの方は、ぜひ、kantozeze@gmail.comまでご連絡をいただければと思います。

なお、今年の同窓会は、5月下旬か6月上旬頃を目途に開催することを考えております。こちらにつきましても、関東在住の卒業生の方々にはぜひご出席頂ければと思っております。

(長谷川 紘之)

成人式同窓会

(膳所高61回 平成25年卒業)

新年が明けて早々の1月12日、私ども平成24年度卒業生が大人の仲間入りを果たす節目の日に、大津プリンスホテル「プリンスホール」にて、同窓会を開催いたしました。当日は多くの方の参加により、約380名の同窓が集まりました。また恩師の先生方も大変ご多忙の折、7名ご出席くださいました。会の冒頭では当時学年主任の奥村先生にお言葉と乾杯の音頭を賜り、懐かしさとともに成人となった自覚を改めて感じました。乾杯後の歓談の時間は、美味しい料理に彩られ、ビンゴゲームやアカペラグループ「ハーモニー」の発表もあって大変盛り上がるひとときとなりました。閉会時には恩師の先生方に



感謝の気持ちを込め花束を贈呈し、校歌を歌唱しました。卒業してまだ2年しか経っていませんが、同窓と話すときと全然違う感じがして、同窓生もいて、それぞれの環境が大きく変わっていることを実感しました。しかしその中でも高校時代の話をすると大変懐かしさを感じ、それぞれの環境で過ごすにあたって高校での日々が糧になっていることを実感しました。これほどの同窓が集う機会はおそろしく今回が最後になるでしょうが、今後も同窓生は生涯の仲間として、違う環境にながらも、お互い刺激し合い、交流していくことができればと思います。

膳所高校の校訓である「遵義 誠実な心で、真理と正義を追求し、人類の未来に貢献しよう 力行 自主・自立を尊び、心身を鍛え、高い理想に向かおう」このたび成人を迎えるにあたり、私どもはこの精神を胸に、より一層自分たちの力を高め、社会に貢献していくことを決意いたします。本会を開催するにあたって、お力添えをいただきました。同窓会事務局の皆様、恩師の先生方、プリンスホテルの皆様に心から感謝申し上げます。同窓会の報告とさせていただきます。

(幹事代表 國松 拓美)

周年記念同窓会 予告

65周年記念同窓会

・日時 平成27年6月12日(金) 12時
 ・場所 琵琶湖ホテル(5階琵琶湖の間)
 ・会費 10,000円(予定)
 ・連絡先 高橋 勉(TEL077-534-1481)
 ・大西元則(TEL077-537-2548)
 ※詳細については別途ご案内いたします

喜寿記念同窓会

・日時 平成27年5月10日(日) 午前11時30分受付
 ・場所 浜大津港(ジャン力乗船)
 ・会費 11,000円
 ・連絡先 中村幸弘・小西英太郎
 ※詳細は往復はがきをご覧ください。

55周年記念同窓会

・日時 平成27年9月20日(日) 午前11時〜午後3時
 ・場所 大津プリンスホテル
 ・会費 10,000円(予定)
 ・連絡先 世話人代表 伴野節男
 (TEL・FAX077-5822-2198)
 ※詳細については別途ご案内いたします。

50周年記念同窓会

・日時 平成27年11月1日(日) 午前11時〜午後3時
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・会費 11,000円(予定)
 ・連絡先 世話人代表 永味幸雄
 (TEL077-5252-2938)
 ※詳細については別途ご案内いたします。

45周年記念同窓会

・日時 平成27年9月19日(土) 午後4時受付
 ・場所 大津プリンスホテル
 ・会費 10,000円(予定)
 ・連絡先 三谷辰吉郎(TEL090-3971-8329)
 世話人代表 水谷 正(TEL090-1891-0527)
 ※詳細については別途ご案内いたします。

還暦記念同窓会

・日時 平成27年5月17日(日) 午後3時受付
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・連絡先 山本勝義(TEL077-524-2535)
 ※同窓会総会・講演会後の開催です。

40周年記念同窓会

1. 同窓会
 ・日時 平成27年5月4日(月)【みどりの日】
 ・場所 一次会 琵琶湖ホテル3階「瑠璃の間」
 16時〜19時
 二次会 同ホテル1階「ラウンジ桃山」
 19時30分〜21時
 ・会費 一次会 10,000円/二次会 3,500円
 2. 特別企画「湖西のみち(大津・高島)」を歩く小旅行
 ・日時 平成27年5月5日(火)【子供の日】
 ・集合場所と時間 8時30分(JR大津駅)〜
 16時00分(JR安曇川駅)
 ・会費 5,000円

35周年記念同窓会

・日時 平成27年8月15日(土) 12時受付
 ・場所 琵琶湖ホテル 瑠璃の間
 ・会費 10,000円
 併せて、前日に35周年記念ゴルフコンペを行います。
 ・日時 平成27年8月14日(金) 集合8時15分
 ・場所 ジャパンクラシックC.C.
 ・会費 1,500円 プレイ費 9,500円
 いずれも、次のアドレスまで参加不参加の旨ご連絡ください。
 ・連絡先 布施健次(TEL090-4766-5452)
 メール ogawa1@hive.on.ne.jp

30周年記念同窓会

・日時 平成28年1月2日(土) 午前11時 受付開始
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・会費 10,000円
 ・連絡先 澤 博史(TEL090-7889-2573)
 メール sw1024sayok@docomo.ne.jp
 若山(中江)法子 nonnoni-2248@ezweb.ne.jp
 ※詳細は後日ご案内致しますが、届かない方はお問い合わせ下さい。
 30年の記念同窓会ですので多くのご出席をお待ちしています。

47年卒同期会

・日時 平成27年8月16日(日) 午前11時受付
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・会費 中島 賢(TEL080-1480-1926)
 ・連絡先 中島 賢(TEL080-1480-1926)
 ※詳細案内状は5月中心にお送りします。

新成人記念同窓会

・日時 平成28年1月11日(月・祝)
 ・場所 大津プリンスホテル
 ・連絡先 今村 大智(TEL090-6238-9983)
 ※詳細については別途ご案内いたします。

膳所高校卒業生贈図書「石鹿文庫」

著者名	書名・巻次(版次)
北村 巨著	●政令指定都市 百万都市から都構想へ
前川 佳彦著	●神々が宿る「魔の山」トムラウシ
	ガイドブックには載っていない
	●家族生活の支援 理論と実践
日本家政学会編	●岡本太郎と未来を拓く
政教育部会編	●あの日：あの刻：上野滋子写真集
鶴岡 武彦著	●選べる羅漢たち 東京の五百羅漢
上野 滋子著	●選挙の神様！公正なお裁きあれ
高橋 勉著	●仏を彫る 技と心
銀河 夢舟著	●その時、日本が動く 私が見た政治の裏側
久保田信行著	●水解
的場 順三著	●いじめを克服して
平井 昌信著	●新湖国物語 水の国の文化、道の国の人々
苗村 和正著	●明治を彩る光茫 浅井忠とその時代
北脇 洋子著	

●卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。
 「石鹿文庫」は同窓生の著書を集めた文庫です。

同窓会事業のご案内

◆第20回(平成27年度)ゴルフコンペ

・と き 平成27年9月21日(月・祝)
 ・ところ メイプルヒルズゴルフクラブ
 甲賀市信楽町田代65
 TEL0748-182-13800
 8時00分アウト・イン同時スタート
 申込み切後各自集合時間及び組み合わせ表を追って通知します。
 ・スタート時間
 ・競技方法 ダブルベリア方式による18ホールストロークプレー
 ・当日会費 18,000円(予定)
 但しメンバー・シニアは別料金
 ・募集人数 30組 120名
 ・定員に達し次第×切とします。

◆初夏の会員交流会 in 嵯峨野 嵐山

平成27年度事業として、初めての試みとなりますが、会員交流会を企画致しました。初夏の一日、同窓相集い、交流が深められれば幸いです。ふるってご参加ください。
 ・日 時 平成27年7月11日(土)
 9時10分JR大津駅 逢坂ビル前集合(貸切バス)
 16時30分JR大津駅 解散予定
 ・内 容 生八ッ橋手づくり体験、お昼は「旬亭」にて
 懐石料理、嵯峨野嵐山散策
 ・会 費 5,000円
 ・募集人数 最小開催人数30名
 お申し込み・詳しい内容のお尋ねは、お早目に同窓会事務局まで(最終締切6月6日 先着順)
 TEL077-524-14295
 FAX077-524-11732
 参加申し込みをいただいた方には追って詳細を連絡いたします。

滋賀県立膳所高等学校同窓会

年会費納入のお願い

平成27年度会費を同封の振替用紙にてご納入いただきますようお願いいたします。

ご理解とご協力を
 よろしくお願いたします。



会費は年額2,000円となっておりますが、5年(10,000円)、まとめてご納入いただければ幸いです。

〔納入機関〕 郵便局 01010-3-30378
 (振替用紙は共通です) 銀行 滋賀銀行 本店 普 913381
 関西アーバン銀行 びわこ営業部 普 335940

いずれも名義は、滋賀県立膳所高等学校同窓会 会長 浅田 幸作 です。

※新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみで、卒業後5年目から会費納入をお願いしています。
 ※ご住所等に変更がある場合は振替用紙にその旨をご記入下さい。(総務部会)

会費納入ありがとうございました

同窓会会費納入状況

会員の皆様から納入していただきました平成26年度同窓会会費は、平成27年3月31日現在、

総額 **7,836,000円**
 となっております。

前払いしていただいている方については、当年度分を振替充当して、上記金額に集計させていただきます。会員の皆様のご理解に感謝すると共に、ますますのご協力をお願いいたします。
 今回 平成27年度会費納入の振替用紙を同封いたしておりますのでご入金のおほど、よろしくお願い申し上げます。(総務部会)

第63回卒業式



平成27年3月1日、肌寒さを感じる小雨模様のなか、本校体育館に於いて第63回卒業証書授与式が行われた。誇りと希望を胸に、普通科396名、理数科40名、計436名の生徒が、新たに膳所高等学校から旅立った。

式典は、浅田同窓会長をはじめ、今市同窓会顧問、東郷同窓会総務部会長、元校長の西岡先生、大崎先生、淵田先生、父母教師の会の鈴木会長、吉川副会長、澤副会長、また、成田県議会議員を来賓に迎え、在校生（2年生全員、1年生各クラス代表2名）、教職員とともに、多くの保護者の出席のもと盛大に開催された。

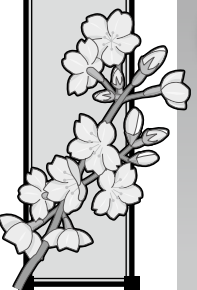
卒業証書は、各クラスごとに担任が卒業生徒を呼名した後、草野圭司校長からクラス代表に手渡された。草野校長は、式辞の中で、「皆さんを支えてくださった、ご家族をはじめ、いろいろな場面でお世話になった方々への感謝の気持ちは、決して忘れないでほしい。膳所高校で学んだ自分であることを大切にしていってほしい。健康に充分気をつけ、豊かな感性と大いなる主体性をもとに、世界に羽ばたいてほしい。」など、卒業生に期待したいこと述べられ、激励された。

「卒業生の言葉」では、代表の山田瑞季さんが、班活動や湖風祭、グアム修学旅行、受験勉強など、仲間と過ごした3年間の学校生活を振り返り想い出を述べ、最後に、お世話になった方々への感謝と、これからの未来を生き抜いていく決意を力強く語った。

その後、卒業生は、福岡千映さんの伴奏のもと全員で「旅立ちの日に」を合唱し、会場の皆さんの大きな拍手で見送られ会場をあとにした。

また、これに先立ち、2月27日には、同窓会入会式が行われた。同窓会入会式では浅田会長がお祝いの言葉を贈られ、卒業生を代表して猪飼更紗さんが「入会の言葉」を述べた。東郷総務部会長からは同窓会の活動等について説明がなされた。

卒業生の今後の益々の活躍を祈念しています。



班活動報告

2014年度 全国レベルの大会結果

- 報道部**
 - 放送班
 - 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト 出場
 - (アナウンス部門) 横上玲奈
- 体育部**
 - ボート班
 - 第69回国民体育大会 出場 北村綾香
 - 第12回全日本ジュニアボート選手権大会 全国34位 北村綾香
 - 平成26年度全国高校総体 女子シングルスカル決勝 第4位 北村綾香
 - ヨット班
 - 第69回国民体育大会 出場
 - 八田菜津子 澤田明莉 高嶋桃香 村山航大
 - 平成26年度全国高校総体 出場
 - 伊藤総一郎 富田泰弘 山下航輝 前畑響平
 - バドミントン班
 - 平成26年度全国高校総体 出場 藤田あゆみ
 - 馬術班
 - 第48回全国日本高校馬術競技大会 出場
 - 伊藤 蒼 山川智大 斧林皇樹 中山 葵 三浦大輝 村田愛水
- 文化部**
 - 音楽(合唱)班
 - 第38回全国総文祭茨城大会 出場 都賀千鶴
 - かるた班
 - 第36回全国高等学校 小倉百人一首かるた選手権大会 出場 団体戦
 - 第38回全国総文祭茨城大会 出場 団体戦
 - 写真班
 - 第38回全国総文祭茨城大会 出場 吉岡成美
 - 書道班
 - 第38回全国総文祭茨城大会 出場 山田亜友美
 - 陸上班
 - 第20回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 滋賀県代表 出場
 - 2015日本ジュニア室内陸上競技大阪大会 1500m6位入賞 辻川 諒 県民体育大会
 - 膳所高等学校体育部が滋賀県民総スポーツの祭典 第67回滋賀県体育大会の総合の部において男子4位女子6位に入賞しました。
 - 物理地学班
 - 第38回全国総文祭茨城大会
 - 物理部門奨励賞(全国第4位)
 - 松田萌黄 上石田菜穂
 - 文芸班
 - 第38回全国総文祭茨城大会 出場
 - 吉野悠紀美 北川嘉明
 - 弁論班
 - 第19回全国中学・高校タイプト選手権 出場
 - 山本真子 辻本純一 大西純一 高橋悠矢
 - 小川竜馬 松田 将 宮内優綺
 - 科学班(チームZ)
 - 科学の甲子園全国大会
 - 企業特別賞 埼玉県経営者協会賞
 - 小川竜馬 小原和馬 戸田 朔 福留拓人
 - 吉井小純 渡部慎也 小林文太郎 中井庸和
 - なぎなた
 - 第69回国民体育大会 出場 西川夏生
 - 数学
 - 第25回日本数学オリンピック(JMO) 成績優秀者 小原和馬

サクサク! 主要大学合格者数

国立大学		公立大学		私立大学		その他	
北海道大	5名	奈良女子大	4名	早稲田大	20名		
筑波大	8名	岡山山	2名	愛知学院大	3名		
千葉大	3名	広島大	6名	京都産業大	9名		
お茶の水女子大	2名	九州大	5名	京都女子大	34名		
東京大	2名	宮崎大	2名	京都薬大	26名		
富山大	4名			同志社大	203名		
金沢大	11名			同志社女子大	22名		
信州大	2名			立命館大	299名		
岐阜大	3名			龍谷大	34名		
静岡大	2名			大阪薬大	8名		
名古屋大	6名			関西大	38名		
名古屋工大	3名			近畿大	32名		
三重大	4名			関西学院大	14名		
滋賀大	9名			甲南大	4名		
滋賀医大	10名			神戸薬大	3名		
京都大	49名						
京都教育大	7名						
京都工芸繊維大	21名						
大阪大	42名						
大阪教育大	2名						
神戸大	29名						

(3月31日現在)

編集後記

今年も「JUNGI DO」を同窓の皆様にお届けする事が出来てホッとします。平成4年の第1号から数えてこの会報が32号になります。振り返ってみれば、第1号には昨年他界された当時の校長、故南池宜樹先生のお祝いの言葉が掲載されています。その中で膳所高校の目指す教育を、「自主自立の精神を培い、知・徳・体の調和の取れた人材の育成」と述べておられます。

高校時代の体験、恩師の影響もあって政治家を目指し国政へ、そして昨年膳所高校同窓生として初の知事が誕生しました。「至誠遵義 自主力行」を理念とし県政に活かそうとしています。そんな新知事へのインタビューを今回の会報で取り上げました。

平成30年には創立120周年を迎えます。卒業生の中には多種多様な分野で活躍の先輩が沢山居られます。

昭和39年東京オリンピックの開会式のイベントに参加された先輩、現在夢に向かって外国で勉強中の同窓生等教育界産業界は勿論の事その他多様な分野でも体験、活躍の先輩方ももっとご紹介したい。そんな思いで編集しています。

御意見、御感想などお寄せ下さい。

- 上野滋子 (東2) ・松村暢江 (膳10) ・山田 勲 (膳11)
- 東郷重明 (膳15) ・卯田重子 (膳16) ・藤原陽子 (膳16)
- 岡澤則子 (膳26) ・堀井美香 (膳33) ・奥村弘史 (総務)

平成26年度同窓会会務・会計報告・平成27年度同窓会総会提出議案

◆平成26年度 同窓会会務報告

2014年(平成26年)

4月 22日	平成25年度同窓会会計監査	
22日	JUNGIDO第31号発行(26,737部発送)	
5月 3日	昭和54年卒35周年記念同窓会(琵琶湖ホテル)	155名参加
14日	昭和27年卒ふなの会傘寿記念同窓会(琵琶湖ホテル)	120名参加
18日	平成26年度同窓会総会(大津プリンスホテル)	101名参加
24日	陸友会総会・講演会(かすが)	
31日	関東膳所高同窓会(日本プレスセンター)	114名参加
6月 8日	野球部総会(セミナーハウス)	20名参加
28日	役員・教職員歓送迎会(あみ定)	15名参加
7月 13日	昭和39年卒50周年記念同窓会(琵琶湖ホテル)	147名参加
8月 16日	昭和44年卒45周年記念同窓会(ホテルグランヴィア京都)	104名参加
16日	昭和49年卒40周年記念同窓会(琵琶湖ホテル)	170名参加
9月 15日	第19回ゴルフコンペ(メイプルヒルズゴルフ倶楽部)	156名参加
19日	役員会(セミナーハウス)	12名参加
27日	昭和34年卒55周年記念同窓会(琵琶湖ホテル)	
10月 13日	昭和31年卒東四会喜寿記念同窓会(琵琶湖ホテル)	65名参加
22日	昭和24年卒65周年記念同窓会(松乃荘)	
23日	昭和20年卒同窓会(ホテルブライティンシティ山科)	30名参加
27日	昭和16年卒同窓会(ホテルブライティンシティ山科)	7名参加

11月 9日 昭和29年卒東二会60周年記念同窓会(大津プリンスホテル) 80余名参加

2015年(平成27年)

1月 2日	昭和59年卒30周年記念同窓会(ホテルボストンプラザ草津)	160名参加
2日	平成17年卒10周年記念同窓会(ホテルグランヴィア京都)	160名参加
3日	平成元年卒25周年記念同窓会(琵琶湖ホテル)	70名参加
3日	平成12年卒15周年記念同窓会(ホテルグランヴィア京都)	150名参加
3日	平成22年卒5周年記念同窓会(ホテルグランヴィア京都)	
10日	昭和45年卒45周年記念同窓会(琵琶湖ホテル)	118名参加
12日	平成25年卒 成人式記念同窓会(大津プリンスホテル)	380名参加
12日	同窓会広報部会(第1回)JUNGIDO第32号編集会議	
2月 14日	同窓会広報部会(第2回)JUNGIDO第32号編集会議	
15日	吹奏楽班OB演奏会(大津市民会館)	
27日	同窓会入会式 436名 同窓会役員会(あみ定)	
28日	同窓会広報部会(第3回)JUNGIDO第32号編集会議	
3月 1日	第63回膳所高等学校卒業式(平成26年度)	
14日	同窓会広報部会(第4回)JUNGIDO第32号編集会議	
28日	同窓会理事会(アヤハレクサイドホテル)	
28日	同窓会広報部会(第5回)JUNGIDO第32号最終校正	
31日	同窓会平成26年度 会計閉鎖	

◆平成26年度 同窓会会計中間報告(H26.4.1~H27.2.28)

一般会計 《収入の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
前年度繰越金	1,107,345	1,107,345	0	
前受会費(26年度分)	4,027,000	4,027,000	0	会費会計より振替
平成26年度会費	3,786,000	3,789,000	3,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,300,000	1,308,000	8,000	
特別(名簿)会計より繰入	1,000,000	1,000,000	0	
雑収入	100,000	31,231	△ 68,769	受取利息、タックシール代
合計	11,320,345	11,262,576	△ 57,769	

《支出の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
総会費	720,000	612,905	107,095	
会議費	200,000	115,199	84,801	理事会、役員会
交際費	50,000	5,862	44,138	
通信費	650,000	543,712	106,288	総会・理事会はがき等
旅費交通費	100,000	85,700	14,300	役員会、関東同窓会出席他
支払手数料	250,000	225,222	24,778	会費納入、振込手数料
雑給与	1,300,000	1,105,640	194,360	
コンピューター関係費	70,000	83,570	△ 13,570	メンテナンス
ホームページ運用費	150,000	150,000	0	更新他
事務用品費	120,000	27,422	92,578	コピー用紙他
備品・消耗品費	260,000	104,955	155,045	コピーチャージ料他
広報発行費	924,000	889,542	34,458	31号発行
広報発送費	2,200,000	1,987,174	212,826	広報封入封緘、郵送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	京大特別講座助成他
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	全国大会参加助成他
慶弔費	150,000	183,284	△ 33,284	
周年同窓会祝い金	460,000	450,000	10,000	
各部会費	650,000		24,219	
広報部会費		94,387		
事業部会費		403,116		ゴルフコンペ
総務部会費		128,278		会費納入依頼再発送代
予備費	966,345		966,345	
合計	11,320,345	9,295,968	2,024,377	

差引現在残高 1,966,608 (11,262,576-9,295,968)

会費会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前受会費繰越金	10,167,000	25年迄の前受金
平成26年度会費	3,789,000	当年度分
平成26年度前受会費	3,440,000	27年以降の会費
合計	17,396,000	

《支出の部》

項目	金額	備考
平成26年度会費	3,789,000	当年度分の会費
前受会費26年度分	4,027,000	25年迄の前受金から
合計	7,816,000	

差引現在残高 9,580,000(17,396,000-7,816,000)

一般及び会費会計現在残高 11,546,608

一般会計現在残高 + 会費会計現在残高 = 11,546,608
1,966,608 + 9,580,000

名簿会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	7,127,034	
名簿売上金	16,000	
利息	1,200	4/14(定期利息)、8/8、2/13
合計	7,144,234	

《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	324	
一般会計へ振替	1,000,000	10/8
合計	1,000,324	

差引現在残高 6,143,910

◆平成27年度 予算(案)

(H27.2.28現在)

一般会計 《収入の部》

項目	H27年度予算案	H26年度予算	備考
前年度繰越金	1,500,000	1,107,345	
前受会費	3,902,000	4,027,000	
当年度会費	3,780,000	3,786,000	
同窓会入会金	1,300,000	1,300,000	新規同窓会入会金
特別会計より繰り入れ	1,000,000	1,000,000	名簿会計一般会計に繰り入れ
雑収入	100,000	100,000	受取利息、タックシール代
合計	11,582,000	11,320,345	

《支出の部》

項目	H27年度予算案	H26年度予算	備考
総会費	720,000	720,000	年次総会(毎年5月3日曜日)
会議費	250,000	200,000	理事会、役員会
交際費	50,000	50,000	
通信費	650,000	650,000	総会・理事会はがき、会費納入用紙他
旅費交通費	100,000	100,000	役員会、関東同窓会出席他
支払手数料	250,000	250,000	会費納入、振込手数料
雑給与	1,300,000	1,300,000	事務局職員費
コンピューター関係費	70,000	70,000	機器メンテナンス
ホームページ運用費	150,000	150,000	ホームページ更新他
事務用品費	120,000	120,000	封筒、コピー用紙他
備品・消耗品費	260,000	260,000	コピーチャージ料、トナー他
広報発行費	1,030,000	924,000	「JUNGIDO」32号発行
広報発送費	2,200,000	2,200,000	広報封入封緘、郵送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	京大特別講座助成他
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	全国大会・関東同窓会大会等参加助成他
慶弔費	150,000	150,000	
周年同窓会祝い金	460,000	460,000	
各部会費	800,000	650,000	ゴルフコンペ、役員会、役員会等
予備費	922,000	966,345	
合計	11,582,000	11,320,345	

平成27年度 事業計画(案)

会員相互の親睦と教養の向上を図るとともに、母校に対する支援・協力の諸事業を行います。特に平成30年に迎える創立120周年に備えて、組織の強化を図り、母校の事業等に協力していきます。

○総務部会 定例総会・理事会の開催、役員会等は必要に応じて開催します。母校との連絡・協議を積極的に推進するとともに、各部会への協力、支援を行います。

○広報部会 母校の情報発信、同窓生の交流を図るため、年1回ではありますが、同窓会報紙「JUNGIDO」を発行します。充実した紙面作りにより努力します。

○事業部会 総会時の講演会や懇親会の開催、各学年同窓会への協力、ゴルフ大会等交流会の開催を通じて同窓会活動の活性化に努めます。また、学校後援会活動、文化班、体育班活動の奨励に努めます。

事務局 年会費の徴収、年会費未納者への督促地域、職域の組織づくり、各クラブOB会の支援

ホームページアドレス
http://www.dosokai.ne.jp/zezekouku
メールアドレス
zeze-h-dousoukai@poem.ocn.ne.jp

特別会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	583,608	
寄付金	100,000	昭36卒 伊藤光江様より
利息	100	8/8、2/13
合計	683,708	

《支出の部》 残高証明手数料 324

差引現在残高 683,384 (次年度へ繰り越し)

◆同窓会財産目録 (H27.2.28現在)

I 一般会計及び会費会計 合計

◇郵便局	◇滋賀銀行		
定額貯金 1口 6,022,000円	本店 普通預金	358,529円	
郵便振替 1口 1,959,724円	膳所支店 普通預金	1,549,855円	
郵便貯金 1口 1,034,507円			
◇関西アーバン銀行 びわこ営業部 普通預金	590,128円		
◇事務室現金	31,865円	計	11,546,608円

II 特別会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金	683,384円	計	683,384円
-----------------	----------	---	----------

III 名簿会計

◇滋賀銀行 膳所支店 定期預金	2,500,000円		
膳所支店 普通預金	3,643,910円	計	6,143,910円

滋賀県立膳所高等学校同窓会

年会費納入のお願い

平成27年度会費を同封の振替用紙にてご納入いただけますようお願いいたします。

**ご理解とご協力を
よろしくお願いいたします。**

会費は年額2,000円となっておりますが、5年(10,000円)、まとめてご納入いただければ幸いです。

【納入機関】郵便局 01010-3-30378
(振替用紙は共通です。) 銀行 滋賀銀行 本店 普 913381
関西アーバン銀行 びわこ営業部 普 335940

いずれも名義は、滋賀県立膳所高等学校同窓会 会長 浅田 幸作です。

※新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみで、卒業後5年目から会費納入をお願いしています。
※ご住所等に変更がある場合は振替用紙にその旨をご記入下さい。(総務部会)



平成14年度から、年会費2,000円、5年会費10,000円に改定されております。
一人でも多くの会員様に会費を納入していただけますようお願い申し上げます。
同窓生の皆様の温かいご支援ご協力を切にお願い申し上げます。